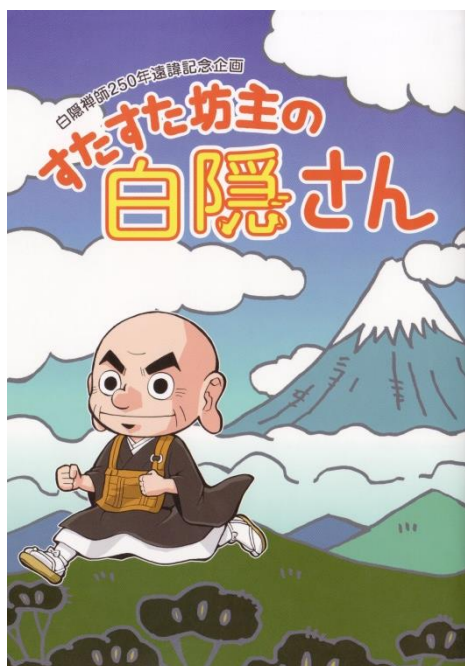
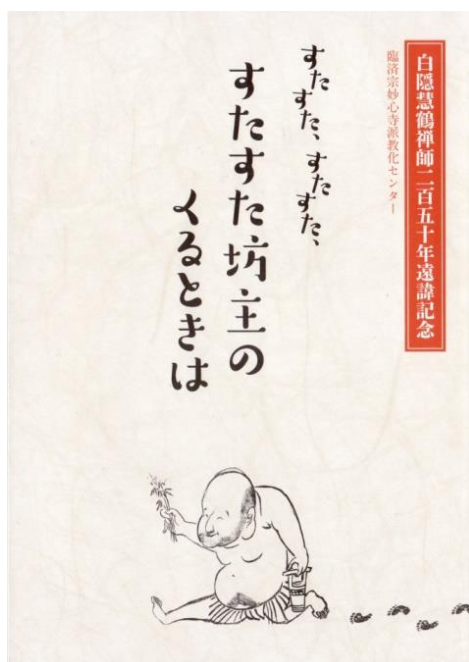




漫画なら一気に読める！



住職の文章も71ページに掲載

榎ノ木

第拾五号

平成29年10月10日発行

青壮年部女性部広報

題字：大内翠峰

白隠禪師二百五十年遠諱記念

白隠禪師二百五十年遠諱(おんき)について

清浄山禪興寺 住職梅澤徹玄

本年は禪興寺の属する臨済宗にとって、大変重要な白隠禪師没後250年目となり、様々な記念事業が行われています。

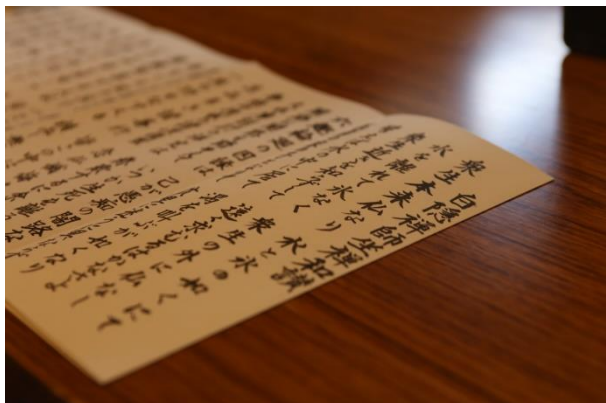
師は江戸時代中期に駿河(現静岡県)の沼津・原に生を受け、今日に至る臨済宗の教えの基礎を築いた方です。難解な禅の教えを一般の人々にも、絵ややさしい日本語のお経等を用いて広めようと生涯努力されました。

現在同宗の禅僧は原則全てこの白隠さんが打ち立てた禅問答の体系を元に、専門道場での修行に励んでいます。

その意味で、臨済宗のお坊さんと檀家さんは全て白隠さんの弟子と言って過言ではありません。

今回大本山妙心寺より、記念事業として記念誌「すたすた坊主のくるときは」と漫画「すたすた坊主の白隠さん」が出版されました。

禪興寺では、檀信徒の皆さんに来年1月配布予定ですので、乞うご期待！当山では7月16日「白隠禪師坐禅和讃」の記念写経・坐禅会を実施しました。



心を込めて書きました。



一心不乱の筆運び！？

子育て水子地蔵まつり 降誕会・花祭り開教



つつじ満開！青葉が目染める百花繚乱の好時節

鮮やかな新緑に包まれて、雲一つない晴天となりました5月19日、当山禪興寺に於きまして恒例の水子地蔵祭り、並びに降誕会花祭りが催されました。

水子祭りは当山山門南に佇んでおられる、子育て水子地蔵様に水子供養のお祈りと絵馬の奉納を行います。

また降誕会花祭りは、お釈迦様の御生誕をお祝いする行事であり、本来は四月八日に行われますが、当山では水子地蔵祭りと合わせて毎年とり行われます。

当日は総代様、水子地蔵世話人様をはじめ、たくさんの方にご参拝をいただきました。

水子供養の読経中に願いを記した絵馬を奉納するのですが、参加者の方々が率先して助け合われ、流れるように絵馬が飾られていく様は、とてもありがたく感じられました。

本堂での御詠歌の奉詠、降誕会の後には、本山妙心寺からお招きした布教師様の法話を、皆様と聞き、今年も大変充実した一日となりました事を感謝いたします。



それぞれの願いを込めた絵馬



大本山妙心寺派巡教師の法話

百名山踏破&日本三度縦断
樹木葬会員

私の足跡

富谷市鷹乃社 百束邦雄

定年後の日々はできるだけアクティブに過ごそうと先ずは好きな山へと向かった。

目標は日本百名山。それまでに登ったそちこちの山を拾い出すと、百名山にはすでに三十座程登っていた。

これからの手持ちの時間はまだまだぷりである。

これ幸いとばかりせっせと山に通い3年で全百名山の頂に立ちました。

初めての月山から最後の富士山まで通算すると11年を費やしていた。

富士山からの帰途の道々「そうだ、次は登った山々を平地から眺めてみよう、また違った感慨を持てるだろう」と考えていた。

出発地は北海道の宗谷岬、日本の北の果てと決めた。

北の海辺に立ち、意外に近くに見えるサハリン（旧樺太）を眺めつつ「こんなちっぽけな足で果たして南の果てまで行けるだろうか」との不安もあった。

日本海に沿って歩くこと3年、九州最南端佐多岬に到着した。

2935km。終わったなあと感慨にふけり、ふと傍らを見ると「北端：宗谷岬 南端：佐多岬 東端：納沙布岬 西端：小佐々神岬鼻」との立て看板が目についた。

人々との出会い・各地の歴史の地を實際に見る興味と充実感・風景風物・人々の生活の周囲の身近な自然等々、山歩きとはまた違った面白さと充実感を存分に味わったなあの思いにふけていたので、次は東端から西端の旅をしよつ、太平洋側を歩こうと即座に決めていた。

翌平成22年の春、納沙布岬からの行脚を開始。

3年後長崎県小佐々の小さな小さな岬「神岬鼻」に立っていた。

3068km。又終わったなあと明るい南の海に對峙しながら、日本海側を歩いた、太平洋側も歩いた、ならば次は日本列島の中央部を歩こう、四国も縦断しよう、そんな思いを抱きながら帰途に着いた。

そしてこの春「九州縦断」を終え3度目の徒歩日本縦断を終了した。

北海道の旅をしていた時、登り詰めた峠の上で「白隠禪師」と記された白い幟を見た。

眼下に広がる広大な原野の空には白い雲がぼっかりと浮かんでいた。

白隠禪師についてはまだ何一つ知ってはいなかったが、私にとってはあの雲が白隠禪師のような、ほのぼのとした気分になったのを覚えていた。

北海道・東北・東海道と歩みを進めて旧東海道の原宿（沼津市原）まで来ると「白隠禪師誕生の地」とあった。北海道の旅の空で親しみを持った白隠禪師とはこの地の人かと松蔭寺をめぐりながら感慨を覚えた。

こんな旅を続けてよかったなあとしみじみと感じました。

まだ3度目の日本縦断を終えていない昨年5月、「樹木葬」のお世話に家内共々なることに決め、禪興寺さんを訪ねたところ白隠禪師和尚につながる禪寺であることを知り、偶然の縁と喜んだものでした。

先日のお坐禅会・写経会（共に私にとっては初の体験）に出席した折「白隠禪師250年記念の小冊子」をいただきました。

ページをめくって行くと、白隠禪師足跡の地図が載っていました。

そうだと旅は白隠和尚の足跡をたどろうとの気持ちがいよいよわいてきました。

後期高齢者の歳になった今全行程を歩き通せるかどうか不安もありますが、今後の人生道中に又ひとつ大きな楽しみをもらったなあと気持ちが膨らんでいきます。



写経会後の茶話会で突然偉業が発覚！？



筆者は左手前



法要に先立ち、心に響く御詠歌を奉詠。筆者は後列中央

うら ほん せ が き え 盂蘭盆施餓鬼会・新亡供養

うら ほん せ が き え 盂蘭盆施餓鬼会に御詠歌を奉詠して

花園会御詠歌禪興寺支部 大崎智子

御詠歌を始めて5年になります。
盂蘭盆施餓鬼会での奉詠は、初めてです。

緊張しての奉詠が始まりました。
お唱えしているうちに、三回忌になる母を思い出し感極まり声がつまってしまいました。

ふと、気が付くと参列席の方からも、すすり泣く声が聞こえるような気がしました。

ああ、私だけではない何か心にしみるものがあるのだと思いました。

盆棚経に副住職さんに来て頂き、今年の盂蘭盆施餓鬼会は特別な雰囲気がありとてもよかったと、嬉しい言葉を頂き、ああ御詠歌を始めて良かったと思いました。

佐藤京子先生の並々ならぬ尽力のもと発足し、松浦よし子先生のご指導のもと、今日までに至りました。

そして、住職さんの配慮で、年数回お寺さんの行事と、御詠歌会員の家族と、一檀信徒様の葬儀、そして、今年一月には、前任職黒川大雄大和尚様の津葬時に、お唱えさせて頂きました。

また三年前より宮城刑務所の収容所内での盆施餓鬼会にも奉詠させて頂いております。

自己満足かもしれませんがとても良いことをしたように思われ、心が和み癒されるひとときです。

みな様もどうですか、月に一、二回のお稽古です。入会しませんか。

清浄山禪興寺 花園会青壮年部・女性部会報



導師を務めた住職が塔婆を一枚一枚読み上げます。



地獄絵図を背に合掌する和尚様方



亡き大切な家族の冥福を祈ります。



若生一郎総代長挨拶



声高らかにお経を唱えて回る「行道（ぎょうどう）」

平成29年度 宮城福島教区花園会

青壮年部総会に参加して

佐藤彰副会長が教区青壮年部幹事就任

取材：広報部長 小川弘吉

8月26日にホテルキャッスルプ
ラザ多賀城を会場に、大勢のご来賓
をお迎えして、各寺院の会員出席の
元、平成29年の総会が開催されま
した。

その後、議長に佐藤彰氏（禪興寺
花園会青壮年部副会長）が選出さ
れ、議事は原案通り可決。彰氏が新
役員の幹事に就任しました。
おめでとうございます。

最後は、全員で四弘誓願文を読み
上げて終了しました。

開会にあたり教区宗務所長・花園
会会頭の工藤速雄師と同花園会青
壮年部会長鈴木那彦氏がそれぞれ
一年間の活動について話されまし
た。



佐藤彰副部会長が議長を務めました。

今後の行事予定

- ◎11月19日（日）
女性部研修会
福島県会津若松方面
- ◎12月9日（土）
大般若祈祷・成道会
先住大雄和尚一周忌宿忌
- ◎12月16日（土）
青壮年部・女性部忘年会
- ◎2月（日程未定）
涅槃会



講師は前大本山財務部長瑞岩眞泰師

編集後記

日が暮れるのも早くなり、稲穂
も黄金色に色づいて・・・

今回は、白隠禅師坐禅和讃写経
会に参加させて頂きました。

その参加者の百束さんがすば
らしい体験をされたことが偶然
わかり、今回の寄稿をお願い致し
ました。

多くの方に参加していただき、
私も大変勉強になりました。

また、佐藤彰副会長、教区幹事
就任おめでとうございます。

ますますのご活躍を期待して
おります。

禪興寺青壮年部・女性部として
も応援していきますよう。

季節の変わり目、体調管理に努
め元気にお過ごしください。

広報部
部長 小川弘吉
副部長 相澤敏晴
部員 佐藤 彰 早坂妙子
浅野澄江

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部
〒九八一・三六二五
宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三